

算命学とビジネスとの関係

- 1 経営課題の解決では、現代の経営理論で解決できることと、出来ないことがある。

カンで決めていた経営判断に論拠を提供できることがキー。

→ **お金の決裁権を持つ経営層に寄り添う事**で、大きな付加価値を生んで、コンサルタント側もおすそ分けにあずかれる。

- 2 **人の相性**と言った、現代の経営理論では解析が困難な事例でも算命学で分かることがある。

また、人の考えや行動は、時とともに変化する。

時運を捉えることも、組織としては重要になる。

- 3 各ビジネスシーンでの活用法を事例で学習することが大切です。

算命学のビジネスシーンでの利用方法の例 1/2

- (1) 仕事で、**自分が気をつけるべき点**を意識することで失敗などを回避する。
→ **年運・月運と、その時の支配星で割り出す。**
- (2) 自分と部下や上司との関係を時系列で知る。
→ **相性の位相法で、関係性の時運を知る。**
- (3) **チーム構成の設定、人事**や**後継者の選定**に使う。
→ **五行図、宇宙盤、位相法などの相性を知る方法を使う。**
- (4) **重要な契約日**などを決める。
→ **年運、月運、日運を参考にする。**
→ **契約日を生年月日として今後の発展を知ることが可能**
- (5) **社員に将来設計させる**ことで、その日暮らしから脱却する。
→ **六星占術での簡単な年運を基に人生設計をする。**

算命学のビジネスシーンでの利用方法の例 2/2

- (6) 株式の投資の参考にする。
(社長の生年月日と会社の登記日から割り出す)
→ **年運から天中殺などのリズムを知って投資する。**
- (7) **業績評価に利用**する。
好調期の人には大きく設定し、**不調期の人**には準備運動を評価する。
→ **年運から天中殺などのリズムを知って目標設定する。**
- (8) お客様の状況をもとに**営業に使う**。
(お客様の購入時期が重要になる住宅販売などに使う)
→ **天中殺時期を避けて、時運の良い時に勧める。**
- (9) お客様の**来店誘導のコミュニケーションツール**にする。
(美容室やネイルサロンなど)
→ **お客様の宿命表を基にいろいろな相談に乗れる。**
→ **タロットカードや手相も有効な手段となる。**